

<No21 : 地図編集>

図 21 は、国土地理院刊行の電子地形図 25000 の一部 (縮尺を変更、一部を改変) である。次の文は、この図に表現されている内容について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

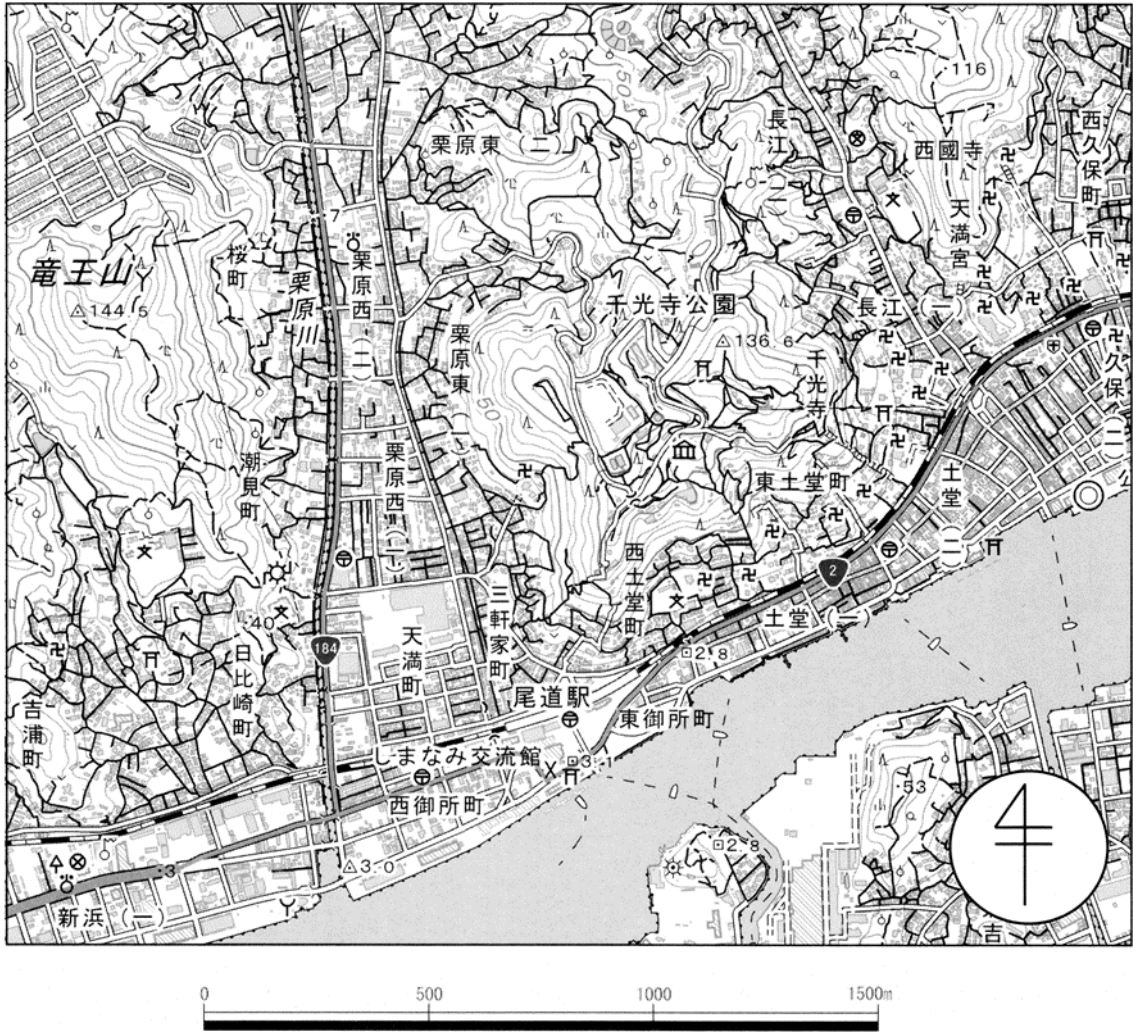


図 21

1. 尾道駅前にある郵便局の南東に灯台がある。
2. 市役所と博物館の水平距離は 850m 以上である。
3. 栗原川は北から南へ流れている。
4. 竜王山の山頂と尾道駅の標高差は 130m 以下である。
5. 裁判所と警察署が隣接している。

<No22 : 地図編集>

次の文は、ユニバーサル横メルカトル図法(以下「UTM 図法」という。)及び平面直角座標系(平成 14 年国土交通省告示第 9 号)(以下「平面直角座標系」という。)について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. UTM 図法に基づく座標系の縮尺係数は、中央経線上において 0.9996、中央経線から約 180 km 離れたところで 1.0000 である。
2. UTM 図法に基づく座標系は、地球全体を経度差 6° の南北に長い座標帯に分割し、各座標帯の中央経線と赤道の交点を原点としている。
3. UTM 図法と平面直角座標系で用いる投影法は、ともに横円筒図法的一种であるガウス・クリューゲル図法である。
4. 平面直角座標系における X 軸は、座標系原点において子午線に一致する軸とし、真北に向かう方向を正としている。
5. 平面直角座標系では、日本全国を 16 の区域に分けている。

<No23 : 地図編集>

次の a ~ e の文は、一般的な地図編集について述べたものである。[ア] ~ [オ] に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

- a. 新たに編集して作成する地図の基図は、より縮尺が [ア]、かつ最新のものを使用する。
- b. 基図を基に縮尺の小さい地図を作成する場合、重要度の高い地図情報を選択し、その他の情報を適切に省略する必要がある。これを地図編集における [イ] という。
- c. 基図を基に縮尺の小さい地図を作成する場合、形状を適宜簡略化して表示する必要が生じる。これを地図編集における [ウ] という。
- d. 基図を基に縮尺の小さい地図を作成する場合、地形や地物の重要性に応じて、必要最小限の量でこれらを移動させることになる。これを地図編集における [エ] という。
- e. [オ] とは、文字又は数値による表示をいい、地域、人工物、自然地物などの名称、特定の記号のないものの名称、標高値、等高線数値などに用いる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	大きく	取捨選択	総描	転位	整飾
2.	大きく	取捨選択	総描	転位	注記
3.	大きく	総描	転位	取捨選択	注記
4.	小さく	取捨選択	総描	転位	整飾
5.	小さく	総描	転位	取捨選択	注記

<No24 : 地図編集>

N市では、津波、土砂災害、洪水のハザードマップや各種防災に関する地理空間情報を利用できる GIS を導入した。次の文は、こうした地理空間情報を GIS で処理することによってできることや、GIS での処理方法について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 河川流域の地形の特徴を表した地形分類図に、過去の洪水災害の発生箇所に関する情報を重ねて表示すると、過去の洪水で堤防が決壊した場所が旧河道に当たる場所であることがわかった。
2. 津波ハザードマップと土砂災害ハザードマップを重ねて表示すると、津波が発生した際の緊急避難場所の中に、土砂災害の危険性が高い箇所があることがわかった。
3. 住民への説明会用に、航空レーザ測量で得た数値表層モデル(DSM)を用いて、洪水で水位が上昇した場合の被害のシミュレーション画像を作成した。
4. 標高の段彩図を作成する際、平地の微細な起伏を表すため、同じ色で示す標高の幅を、傾斜の急な山地に比べ平地では広くした。
5. 災害時に災害の危険から身を守るための緊急避難場所と、一時的に滞在するための施設となる避難所との違いを明確にするため、別の記号を表示するようにした。